

再発見 The Art of Refereeing (2)

第Ⅲ章 一般原則 1. レフリングの心理学の冒頭の部分に先ず目をとうしましょう。

CHAPTER III

GENERAL PRINCIPLES

I. THE PSYCHOLOGY OF REFEREEING

Refereeing is an art. It is neither a science nor yet the job of a lawyer—still less that of a policeman.

It calls for unostentatious leadership, for it is concerned with men.

Rugby Football is a recreation played for the enjoyment primarily of the players. It follows that the referee's approach to his job must be positive and co-operative. He must be interested less in looking for illegalities and imposing the authorised penalties than in using his "art" to produce an atmosphere conducive to the playing of good, bright and interesting Rugby Football, enjoyable to the players, and, it is hoped, to himself.



... Refereeing is an art ...

『レフリングは芸術である』

芸術とは人間が作り出した絵画や音楽など人間を引きつける秀でたものです。

『レフリングは科学でもなければ法律家の仕事でもない。警察官の役目でもない』

科学とは原理で全て解決出来るもの。

法律家は法律に照らして判定を下す人。

レフリーが導入されるまでは umpire が判断を下していました (参照: 西川ラグビーコラム)。

警察官は法律に違反した人を捕える人。

『レフリングについては高ぶることなく任務が遂行されることが求められる。それはレフリングが多くの人に関わることであるからです』

unostentatious 高ぶらなくということは勿体ぶらない、目立たない。見栄を張らないといった内容です。冷静にと訳してしまっはいけません。人間に関わることはラグビーをするのも、レフリングするのも人間で、万能の神ではない者同士の活動ですから完全でない人間らしさや人間臭さがあるって当然だということです。

“The Rugby Dictionary·Webster and Mitchell” という表題の辞書があります。レフリングのページに次のようにあります。

Referee

Was given a whistle as a small boy and enjoys blowing it constantly. Interrupts what would otherwise be an exciting stoppage-free game of Rugby. Can recite Law 26 (3) (f) quicker than the date of his wife's birthday. Has no colour sense, sticking mostly to white coordinates. Has a very divisive effect on the game as half the people love him (the winners) and the other half think he's (1) blind, (2) a rotten cheat, (3) both.

REFEREE



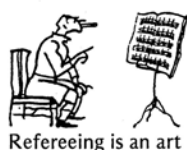
レフリングのページに次のようにあります。
 核心をつきユーモアにも富んだもので味わうべき内容です。
 RFU が過去に発行したパンフレットも重要な参考資料です



5 ページ

6 ページ

1 ページ



Refereeing is an art

2 ページ

Rugby Football is a recreation played for the enjoyment primarily of the players. It follows that the referee's approach to his job must be positive and co-operative. He must be interested less in looking for illegalities and imposing the authorised penalties than in using his "art" to produce an atmosphere conducive to the playing of good, bright and interesting Rugby Football, enjoyable to the players, and, it is hoped, to himself.

3 ページ



Rugby players are not criminals

4 ページ

三つ折りですので、仮に1~6 とページを打ちます。

1 ページ：表紙、RFU のエンブレムが輝いています。

LAW の頭文字「L」を背中に付けたレフリーが笛を持って立っています。絵からこの人の全体像を想像し見てください。味わいある絵です。

『レフリーの定義：眼力ある、衰えはじめている老プレーヤー』

眼力とは体力や観察力も含めた力のことを言っています。人間の能力の限界も言っているのでしょう。

2 ページ：『レフリングは芸術である』

“The Art of Refereeing” の本文が挿絵とともに引用されています。譜面台の楽譜を見て指で曲を追いながら、強弱や色々なことを勉強している絵は、グラウンドに立つ前にレフリーのしなければならぬことを教えています。

3 ページ：本文がそのまま引用されています

『ラグビーは根本的にはプレーヤーの楽しみにために行われるリクリエーションである』

プロは違いますが、勝利至上主義に走っているチームも多いです。それを全面的に否定できない現状もありますが。

『レフリーの仕事にたずさわるに当たっては肯定的で協調的であることが求められる』

人に言われて仕方なく受動的でなく能動的に進んで取り組むべきであり、人と強調することを喜ぶ気持ちが大切です。30人のプレーヤーと強調してラグビーを楽しむという協調性が大切です。

『レフリーは不正なプレーを探し出し、権威的に罰を科すことに興味を持ち努めるべきではない。good, bright, intersting game をすることによってプレーヤーが楽しくなる雰囲気を作り出すことによりいっそうレフリングの芸術を使うべきである。そうすること、それはレフリー自身にとっても楽しいことです。』

反則を探し出すことに懸命な警察官であってはいけません。罰を科すことに専念する法律家であってはいけません。望ましいゲームは、

good : ルールが守られルールの糸が具現されている

bright : 明るい、勝利至上主義に没した暗さがない

intersting : 躍動的で変化に富み興味深々で面白い

good, bright, intersting game の創造へ努力するのはプレーヤーのためだけでなくレフリー自身のためでもある。

4 ページ : 『ラグビープレーヤーは犯罪人ではない』

犯罪人だから犯罪を繰り返すという性悪説に立たない。勝敗を争う感情の高ぶりは否定するものではないがスポーツは本来性善説の元に成り立っているのです。

5 ページ : 『レフリング取り組みへの心構え』

- ・レフリングの心理学にかなう先進の充実を身体訓練の充足がなにより大切
- ・クラブからテストマッチへのゲームへと段階を徐々に上がるように向上を図る
- ・観衆よりゲームの近くに。一番近くにいる人であり自信を持って
- ・レフリーの団体組織の人々と友情を保つ
- ・ゲーム後の一杯は喜んで受ける（自由であればなおさら）
- ・最も重要なことは30人の若者にリクリエーションを出来るだけ楽しませること

6 ページ : 『プレーヤーの信頼を得なさい』

信頼を得るためにどうあればよいか、どうしたらよいか考え努力しなさい。

『レフリーをやろうと思う人はラグビー協会へ連絡して下さい』

パンフレットについては以上です。

以下次稿とします。

注意：本文は古い本の再読のため、ルール及び解釈は当時のものをそのまま使用しています

2010. 10. 17

西川 義行